

開館して約半世紀! 数千個のひょうたんがギッシリのレトロな博物館

9月12日(水)、養老町にある「ひょうたん会館」取材して来ました。こちらは、昭和49年8月に開館した名

前の通りひょうたんをテーマにした博物館です。養老町は養老の滝が有名ですが、滝の水が酒に変わったという養老伝説も昔から語り継がれています。養老伝説とは、養老の山の中から湧き出た酒をひょうたんに汲み取り、飲むと若返ったという伝説です。養老の滝とひょうたんにそんな関連性があったとは驚きでした! それでは、ひょうたん会館について詳しく見ていきましょう!



2階 / 珍古瓢 (展示場)



↑ 2階はひょうたんの作り方をジオラマで表現するなど、ひょうたんについて分かりやすく解説しています。

ショーケースの中には、ひょうたんの種まきから収穫までの過程がジオラマで作られています。造花や本物のひょうたんを使って栽培法が分かりやすく解説されています。



↑江戸時代に作られたひょうたん。

数多くの歴史あるひょうたんがたくさん展示されています!

こちらが安土桃山時代のひょうたんです。歴史を感じます。



愛されるひょうたん!

昭和43年8月30日に放送されたNHK「趣味の園芸」という番組で、ひょうたん会館が紹介されました。放送後、故・藤塚仁郎館長宛に全国各地のひょうたん愛好家からたくさんの手紙が寄せられ展示されています。

1階 / お土産売場

1階には、様々なサイズのひょうたんがいたる所にあります。その中でも売れ筋お土産ベスト3をスタッフに伺いました。



ひょうたん会館スタッフが選ぶひょうたん会館のお土産 BEST 3

第1位

五色六瓢箪 無病息災の御守

ひょうたんの中に5色のミニひょうたんが入っています。それぞれの色には「緑」肝臓「赤」心臓「黄」脾臓「白」肺臓「紫」腎臓の健康を願った御守です。

第2位

のぞき瓢箪根付

ひょうたんの中をのぞくと、なんと養老の滝が見えるんですよ!!

2



3

第3位 金色の千成瓢箪

豊臣秀吉が好んで愛用していた金色の千成瓢箪です。ひょうたんを車に飾れば事故を起こした時に身代わりになってくれると言われています。



ひょうたん会館

岐阜県養老郡養老町鷺巣1646-9

電話 / 0584-32-2500

営業時間 / 9:00~19:00

休館日 / 不定休

入場料金 / 100円(2階の展示場のみ)

駐車場 / 無料(約15台)



MJ編集部オリジナル「MJドライブナビ動画」配信中!!

誌面では伝えきれない楽しさがいっぱい! 左のQRコードからチェックしてね!!



MJ取材班 こっちゃん

